



日本パッケージデザイン大賞 2023

応募要項



JAPAN PACKAGE DESIGN AWARDS 2023

「日本パッケージデザイン大賞」とは



JPDA

JAPAN PACKAGE DESIGN ASSOCIATION

「日本パッケージデザイン大賞」とは

公益社団法人 日本パッケージデザイン協会 (JPDA)が主催し、公募により広く作品 (商品)を募集して選考するコンペティションです。

パッケージというデザイン領域のプロフェッショナルたちが集い、作品のデザイン性や創造性を競います。

1985 年から隔年で開催、パッケージデザインの社会的地位向上をめざし、優れた仕事に拍手を贈る場を築いてきました。

生産や流通、環境を意識した包装の面だけでなく、デザイン的な価値や商品づくりの観点にも重きを置きながら、

パッケージデザイナーの目で評価することも大きな特徴となっています。毎回約 800 点以上の作品から会員審査員と外部特別審査員による厳正な審査を経て、大賞・金賞・銀賞・銅賞・特別審査員賞などが選出されます。

INDEX

1. 日本パッケージデザイン大賞 2023 開催につきまして
2. 応募期間
3. 応募概要
4. 応募方法
5. 作品審査手数料
6. 二次審査
7. 注意事項
8. お問い合わせ先
9. 作品年鑑掲載とその概要
10. 入賞作品巡回展
11. 入賞作品寄贈のお願い



1. 日本パッケージデザイン大賞 2023 開催につきまして

ごあいさつ

優れたパッケージデザインとは何でしょうか。デザインは様々な要望に答える役割を担っています。

購買意欲を刺激する魅力、使いやすさやわかりやすさ、生活の質を向上させる審美性や革新性、環境・社会への配慮など、求められる要件は多岐にわたります。しかしそれらの要件をクリアするだけでは優れたデザインにはなりません。

新しい発想、アイデア、クリエイティビティーが高いレベルで具現化されたものが優れたデザインだと思います。

今回で20回目を迎える日本パッケージデザイン大賞は、日本で最も優れたパッケージデザインを選ぶコンペです。

多数の応募作品から厳正な審査を経て、大賞、金賞、銀賞、銅賞、特別賞などが選出され、

入賞・入選作品は『年鑑日本のパッケージデザイン』（六耀社・刊）に掲載されます。

また、入賞作品は巡回展に展示され、大賞、金賞作品は当協会のアーカイブに現物保管されることになっています。

数多くの応募作品の中から入賞・入選することは並大抵のことではありません。しかしそこで選ばれる作品は、

その時代を代表するデザインとして、パッケージデザインの歴史にその名を残すことでしょう。

パッケージデザインに関わる多くの皆様からの素晴らしい作品のご応募を期待しています。

公益社団法人 日本パッケージデザイン協会

理事長 伊藤 透



応募期間

2022年3月1日(火) 10:00～4月15日(金) 17:00

上記期間内に下記作品応募 Web サイトにアクセスし、必要事項を登録します。

<https://award2023.packagedesign.jp/>

こちらのQRコードからもアクセスすることができます。——>





応募概要

■審査対象となる作品

2020 年 3 月 1 日から 2022 年 2 月 28 日までに
日本国内で発売(発表)され量産された作品

※日本国内でデザインされ、海外で販売された作品も含む

※前回「日本パッケージデザイン大賞 2021」に応募された作品と同一作品は
応募することはできません

※入賞作品を選定する二次審査は、実物審査となります。

一次審査を通過された場合、入選通知に記載された場所に作品実物を送付していただくこととなります。



審査基準

1. 創造性 未来を切り開くあたらしいデザイン (Innovative)

固定観念にとらわれないアイデア、高いオリジナリティーを表現しているか
創造的な(イノベティブ)/独創的な/挑戦的な/革新的な/インパクトのある

2. 審美性 美しさや魅力を感じるデザイン (Aesthetics)

美しさや心地よさ、優越感など、利用者が共感し愛着に繋がるような価値を持っているか
構造やフォルム、配色、素材、表面処理、タイポグラフィー、グラフィック、配置など魅力的に表現しているか
クオリティーが高い/情緒的な/雰囲気の良い/調和のとれた

3. 機能性 伝わりやすい/使いやすいデザイン (Easy to Understand/Usability)

商品の特性がわかりやすく、魅力的に表現されているか(中身が何かわかる)
パッケージとしての使いやすさが考慮されているか
人・暮らしに寄り添った/機能的な/利便性の高い/ユニバーサル

4. 市場性 買いたくなる/時代をとらえたデザイン (Marketability)

デザインの魅力によって購買に結びつく可能性、ひと目見て欲しくなる力があるか
客観性や論理性、明確なコンセプトを表現しているか
時代をとらえた/ブランド価値を高めた/市場を確立した/爆発的に売れた

5. 社会性 社会に貢献するデザイン (Social Responsibility)

環境保全や資源の配慮など、デザインの力によって問題解決しているか
持続可能性/社会的視点/経済的視点/環境配慮

上記の5ポイントを重視し、判断基準とします。



※部門やカテゴリーは変化する社会・流通事情、時代背景を鑑みて、変更されています。

	応募作品部門	商品カテゴリー
1	食品部門	加工食品、冷凍食品、健康食品、調味料、粉末飲料、茶葉、土産物なども含む
2	アルコール飲料部門	ノンアルコール飲料も含む
3	一般飲料部門	乳飲料、ドリンク状のヨーグルト・ゼリー、濃縮液体、ポーションなども含む
4	菓子部門	バレンタインデー、ハロウィーンなどの催事関連作品、土産物なども含む
5	化粧品部門	メイクアップ、香水、スキンケア、化粧雑貨（つけまつげ、ビューラー、ネイルチップなど）
6	ボディ & ヘルスケア部門	ボディケア（石鹸類、洗顔料、クレンジングオイル、リップクリーム、ハンドクリーム、日焼け止めなど、制汗剤、あぶらとり紙、シェービング用品など）、ヘアケア（シャンプー、リンス、ヘアカラー、ヘアスプレー、育毛剤など）、オーラルケア（歯ブラシ、マウスウォッシュなど）、コンタクトレンズ（カラーコンタクト含む）、マスク、生理用品、おむつ、消毒液、サプリメント、入浴剤、医薬品（第一類～第三類医薬品および内服薬、外用薬（医薬部外品含む）など）
7	ホームケア & 電化製品・雑貨部門	家庭用品（キッチン周り、洗剤、ペット用品（餌含む）、消臭・芳香剤、トイレ用品など） 電気機器関連商品（調理器具、ゲームソフト、CD、DVD、BD、AV機器、携帯電話など）、衣料、玩具、タバコ
8	贈答品部門	詰め合わせ品、中元、歳暮など儀礼的な贈答を目的として販売された作品、記念、販促を目的として制作された作品（非売品含む）
9	輸送用ケース部門	家電製品、生鮮食品、飲料などの輸送用ケース
10	VI・BI 部門	商品パッケージデザイン中心にブランディングされた作品群。（包装紙、ショッピングバッグ、封筒など） ※パッケージ作品を含まない場合は応募できません。

※応募する部門が不明な場合は、下記までお問い合わせください。

awardadmin@mx.packagedesign.jp

※応募された部門については、原則として応募者の申請を尊重いたしますが、応募状況を鑑み、

JPDA コンペティション委員会にて最終判断し、審査に合致した部門に変更する場合がありますので、予めご了承ください。



3. 応募概要

■審査方法について ■審査結果の通知について ■各賞と贈賞内容について

■審査方法

審査は、JPDA 全会員の投票により選出された審査員と、前回大賞・金賞・銀賞受賞者、会員外の学識経験者等で構成された特別審査員により、厳正に行われます。

なお、審査会では公平を期するため、応募者氏名は明示していません。

一次審査員 59 名

二次審査員 16 名

※審査会の見学については、審査会運営の都合上、行っていません。

■審査結果通知

一次審査結果(入選結果)は 2022 年 6 月下旬頃、全応募者にメール通知します。

二次審査結果(入賞結果)は 2022 年 9 月上旬頃、全入選者にメール通知します。

※入賞・入選作品は 2023 年 5 月下旬に刊行される『年鑑日本のパッケージデザイン 2023』に掲載されます。

■各賞と贈賞内容

《大賞》

最優秀と認められた作品に対して、以下の賞が授与されます。

「日本パッケージデザイン大賞」(賞状・トロフィー)…… 1 点

《入賞》

原則として部門ごとに、以下の賞が授与されます。

「金賞・銀賞・銅賞」(賞状・トロフィー)…… 各 1 点

《特別審査員賞》

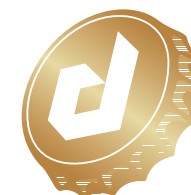
「特別審査員賞」(賞状・トロフィー)…… 4 点

※審査員による協議の結果、作品応募状況、評価に値する作品の有無により、贈賞数に変更となる場合もあります。

※贈賞式は、2023 年 1 月を予定しています。

ロゴ使用のご希望について

入賞・入選された作品におかれましては、「日本パッケージデザイン大賞」のロゴを、作品パッケージやPR等にご使用いただくことができます。
詳細は後日ご案内いたします。





■一次審査員 59 名（投票 31 名・前回受賞 23 名・一次二次兼任 11 名－重複 6 名）

（JPDA 会員 会員投票 31 名）一次選出審査員

赤井 尚子 天野 和俊 石浦 弘幸 石川 竜太 石田 清志 井田 紀美子 井上 聡 畝野 裕司 大上 一重 小川 亮 加藤 芳夫 川路 欣也
工藤 青石 桑 和美 小坂橋 基希 小玉 文 佐藤 雅洋 シバサキエミコ 東海林 小百合 高橋 敏 津島 智範 永島 学 永田 麻美 中森 恭平
平井 秀和 福井 政弘 ヘンリー・ホー 松本 泉 三原 美奈子 宮城 愛彦 森 孝幹

（前回金・銀賞受賞者 23 名※）※うち 6 名が会員投票との重複

金賞受賞者

石浦 弘幸（サントリーホールディングス株式会社） 小野 彩子（株式会社小野デザイン事務所） 木住野 彰悟（6D-K） 小玉 文（株式会社BULLET）
駒井 麻郎（MA・DO Inc.） 近藤 洋一（株式会社つと） 椎木 一郎（花王株式会社） 西村 雅信（京都工芸繊維大学）
宮城 愛彦（株式会社インターブランドジャパン） 村井 源（サントリーホールディングス株式会社） 八木 義博（株式会社電通）
渡邊 理絵（カゴメ株式会社）

銀賞受賞者

天野 和俊（P.K.G.Tokyo） 小八重 康介（株式会社リレーションデザイン） 佐々木 智也（株式会社パーク） 東海林 小百合（Sayuri Studio, Inc.）
白井 絢奈（P.K.G.Tokyo） 永島 学（有限会社永島学デザイン室） 西澤 明洋（株式会社エイトブランディングデザイン）
野根 芳朗（株式会社ブラビス・インターナショナル） 畑山 永吉（株式会社フレーム） 平野 湊太郎（有限会社平野湊太郎デザイン研究所）
細川 華世（ホソカワデザイン）

■二次審査員 16 名（投票 11 名・前回大賞受賞 1 名・特別審査員 4 名）

（JPDA 会員 会員投票 11 名）一次・二次選出審査員

伊藤 透 牛島 志津子 梅原 真 小川 裕子 フミ・ササダ 鈴木 智晴 信藤 洋二 松田 澄子 水口 洋二 山崎 茂 渡辺 有史

（前回大賞受賞者 1 名）

西川 圭（サントリーホールディングス株式会社）

（JPDA 会員外 学識経験者等 4 名）特別審査員

左合 ひとみ（株式会社左合ひとみデザイン室代表 / グラフィックデザイナー）
太刀川 英輔（NOSIGNER代表 / JIDA 理事長）
辻 愛沙子（株式会社 arca CEO / Creative Director）
花澤 裕二（日経 BP 日経デザイン編集長）

敬称略、五十音順

※投票による協会審査員は社名略

※投票による選出と前回受賞が重複した審査員は
どちらか 1 名分のご参加とさせていただきます。



■作品応募

下記 URL にアクセスし、表示された手順に従って必要事項を登録してください。

<https://award2023.packagedesign.jp/>

こちらのQRコードからもアクセスできます。——>



作品応募期間：2022年3月1日(火)10:00～4月15日(金)17:00

※上記期間外での応募登録不可。

※応募期間最終日はアクセスが集中し、一時的にサーバーの負荷が増える可能性があります。このため、応募登録作業が中断、または通常時より時間がかかり期間内に登録終了することができない場合もあります。期間内に応募登録が完了できなかった場合は、理由の如何を問わず、応募を受理することはできません。余裕をもって早めの応募登録を推奨いたします。

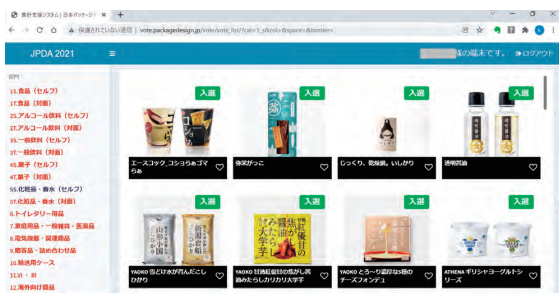


■作品審査の流れ

一次審査 画像審査

選考された審査員が
PCやiPadの
画面上で画像を見て
審査します

▼審査画面イメージ



一次審査
入選通知

作品実物
送付

二次審査 実物審査

選考された審査員が
会場におかれた
現物を見て審査します

▼審査会イメージ



■一次審査の作品画像登録について

応募登録フォーマット上で、所定の文字情報とともに、応募する作品画像を登録してください。

- 画像データは、JPEG 形式で **2400×2400Pixel** の正方形でご応募ください。
- 画像の背景は、審査システムの都合上、白または明るいグレーを基調としてください。
- 同じ作品を複数の部門に重複して応募することはできません。

※登録された画像がルールから著しく違反すると判断された際は失格となる場合もありますのでご注意ください。

※一次審査で画像応募した作品内容が、二次審査時の実物作品送付時に相違することはいかなる場合も認められません。

相違した場合、入選は取り消しとなります。必ず二次審査時に実物送付が可能な作品で応募してください。



4. 応募方法 ■「応募画像」について

1作品の「応募画像」は4枚まで登録できます。

「応募画像」は、構図・角度違い、シリーズ作品の代表作、機能・構造、素材感など評価して欲しいポイントの画像としてください。

「応募画像1」



「応募画像1」はメイン画像として審査画面のアイコンとして表示されます。

「応募画像2」



「応募画像3」



バリエーションなど複数点ある場合、応募画像4枚のうち1枚は必ず作品全体が把握できる画像にしてください。

「応募画像4」



審査画像は、
ほぼ正方形の
比率です。

計4枚まで

1作品の最大応募点数は20点

画像内のものはすべて評価対象物と見なしますのでご注意ください

「応募画像」1枚に掲載できる点数



同一デザインは3点まで



同一ブランドのバリエーション(デザイン違い)は20点まで



VI・BI 部門は20点まで

※点数のカウント例：
箱入りで箱と中身のデザインをそれぞれ評価して欲しい場合は2点とカウントします。

入賞作品画像は、日本パッケージデザイン協会の広報活動に使用します。
また、必要に応じてトリミングする場合がありますので、あらかじめご了承ください。



4. 応募方法 ■「応募画像」の注意と〈NG編〉(してはいけない例)

「応募画像」の注意



← 内包物は、作品内に収める

パッケージにかかわる構成物(内箱・台紙等)は外箱から出して見せても構いません。左記画像の場合は「電話」を構成物から出さないようにしてください。



← 一次審査(画像審査)はOK
二次審査(実物審査)はダミーに

生鮮食品・加工品など中身(実物)が入った状態の作品は、二次審査(実物審査)の際には事故防止(腐敗・退色・破裂等)のため、必ず中身をダミー(モックアップなど)に差し替えた作品実物を送付してください

1作品の最大応募点数は20点

画像内のものはすべて評価対象物と見なしますのでご注意ください

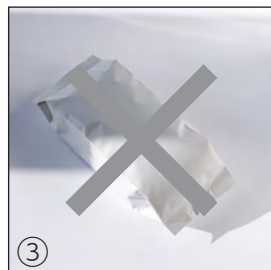
〈NG編〉(してはいけない例)



① 白～薄いグレー以外の背景 1



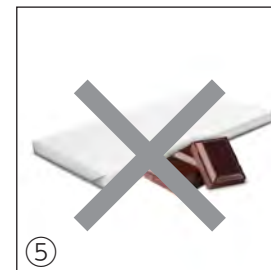
② 白～薄いグレー以外の背景 2



③ パッケージ作品に過度な映り込みやシャドーをつける
(デザインが読み取れない演出)



④ 背景に商品・企業ロゴを入れる



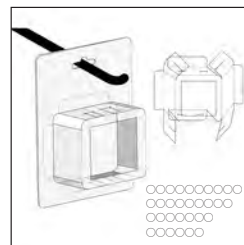
⑤ 評価対象ではない内容物をパッケージ作品の外に出す



⑥ 評価対象物以外の物が写ったもの(植物等の装飾物など)



⑦ 水滴、湯気、光などで演出した画像



「応募画像」の例外

「応募画像」1～4の内、1枚をデザイン意図や機能・構造を説明する画像とすることは可能です。その際、人物の手や説明文、図版などいれることも可。ただし、〈NG編〉(してはいけない例)記載事項と照合して、過度に演出を施した画像であると主催者が判断したものは不可とします。



4. 応募方法

■参考一次審査の画面見え方

※画面は前回時のものです。



JPDA

JAPAN PACKAGE DESIGN ASSOCIATION



PC



Mobile



作品審査手数料

■審査手数料

○ 応募1作品につき……13,000 円 (税込)

■作品審査手数料の支払い方法

JPDA 事務局より請求書を発行します。請求書記載の期日までに指定口座にお振込みください。

その際、必ず請求書に記載された宛名でお振込みください。

異なった名義で振り込まれると入金処理ができず、事故の元となりますので、遵守してください。

理由の如何を問わず、期日までにご入金確認ができない場合は、応募無効となります。

また、お振込み後に応募キャンセルがあった場合、手数料の返却はいたしません。

また、審査後のキャンセル、入賞・入選辞退は一切受け付けません。十分に確認作業を行ったうえ、ご応募ください。



6. 二次審査

- 作品送付先について
- 作品の保管について
- 作品返却手数料について

二次審査

一次審査を通過し、入選となった場合、入賞作品を選出する二次審査へ進みます。

二次審査は実物作品審査となりますので、入選通知が届いた応募者は「7. 注意事項」をご確認のうえ、記載された期間内に実物作品を宅配便にてご送付ください。

■作品送付先

一次審査を通過した応募者に別途お知らせいたします。**作品送付期間：2022 年 7 月 15 日(金)～7 月 22 日(金)**

※上記期間外に作品を送付された場合、受理できません。作品が行方不明となるなどの事故につながりますので、厳守してください。

規定が守られず事故が生じた場合、主催者はその責を負いません。

※期間内に作品が到着しなかった場合、審査会運営に多大なる支障が生じますので厳守してください。

※二次審査結果通知時に、入賞・入選作品をすべて収録した『年鑑日本のパッケージデザイン 2023』(2023 年 5 月下旬刊行)の掲載手数料をご請求いたします。

■作品の保管

送付いただいた作品の扱いには万全を期しますが、不測の事故等で汚れや破損が生じた場合、主催者はその責を負いません。

■作品返却手数料

送付された作品は、原則として返却いたしません。ただし、高価な作品や貴重な作品などで返却を希望される場合に限り、対応いたします。手続きは以下の通り。

あらかじめ応募登録時に作品返却希望欄にチェックを入れていただき、

二次審査結果通知時に返却手数料請求書(梱包費その他)を発行いたします。請求書記載の期日までにお振込みください。

また、作品返却は宅配便受取人着払いとなりますので、手数料のほか、別途着払い料金が必要となります。

○返却手数料 …… 1 作品につき …… 1,100 円 (1,000 円 + 税 10%)

○返却先会社名、担当者名、住所、電話番号、応募時に付与される応募者 ID 番号を記入した「着払い伝票」(返却に見合った枚数分)を必ず作品送付時に同梱してください。「着払い伝票」が同梱されていない場合は返却いたしません。

※返却作業の都合上、宅配業者は「ヤマト運輸」「佐川急便」の 2 社に限定させていただいております。



7. 注意事項

- 作品応募に関する注意事項について
- 二次審査作品送付に関する注意事項について

注意事項

■作品応募に関する注意事項について

入賞・入選した場合、応募時【応募作品情報】に記入された内容は、日本パッケージデザイン協会の web 情報、『年鑑日本のパッケージデザイン 2023』（六耀社刊行）にも掲載されますので、正確な情報を記入されるようご注意ください。
また、記入事項に不備、不明点があった場合には登録の連絡担当者様にお問い合わせいたしますので、年鑑刊行時（2023 年 5 月下旬）まで継続して連絡可能な方をご登録してください。

■二次審査作品送付に関する注意事項について

※送付に際しては、以下の事項を確認いただき、間違いのないようお願いします。

- 作品の直接搬入は行っておりません。
- 審査会場での展示例画像を A4 横サイズで作成し必ず同梱してください。
ただし、展示スペースには限りがありますので、ご要望にお応えできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 作品は必ず実物を送付してください。
- ただし、「生もの」「干物」「チョコレート」「生ジュース」など、腐敗、退色、変質してしまう可能性があるものに関しては、危険な事故や汚染の発生となる恐れがありますので、必ずダミー（モックアップ等）に差し替えて送付してください。
万一、当該物を送付された場合は、廃棄処分いたします。※冷蔵設備の用意はありません。
- 透過性素材の箱や袋のパッケージで、内容物のダミー作製が困難なものは、内容物が入った状態の写真出力紙（B5 横サイズ）を 1 枚添付することができます。
- VI・BI 部門につきましては、デザイン意図を説明した A4 縦サイズのカラー出力紙を 1 枚添付することができます。
- 台紙貼りをした作品、展示台、台紙、布など、作品以外の付属品は審査会場スペースの都合上、受け付けておりません。
万一、当該物を送付された場合は、廃棄処分いたします。審査会場では、公平を期すため白紙を敷いた展示台に作品を陳列します。
- 積み重ねても作品が破損しないよう、堅牢な段ボール箱に収納してください。
また、段ボール内でも作品同士がぶつかって破損することを防止するうえで、隙間が生じないようにしっかり梱包してください。
- ひとつの段ボールに複数の作品を混載する場合は、開封時にそれぞれの作品が区別された状態になるよう、仕分けて梱包してください。
- 梱包開封・作品整理作業を円滑に進めるため、梱包した段ボール箱の外側に、専用の「送付作品貼付カード」（作品名、応募した部門を記入したもの）を必ず貼付してください。
- 送付期間は厳守してください。期間内に到着しない場合、審査会に出品できなくなります。



7. 注意事項 ■その他注意事項

■その他注意事項

○入賞・入選作品で、盗作など不相当と判断された場合、審査が終了し、結果通知後であっても、入賞・入選を取り消します。

○応募者は、応募する作品が他の応募者と重複しないよう、関係者間で事前調整のうえ、応募してください。

○作品応募に関し、応募者は以下の事項につき了承いただいたものとします。

①下記の場合において、事例紹介を目的とする年鑑掲載作品画像の転載、映写、展示などを行う権利は、当協会と年鑑発行元の六耀社が保有する事を了承する。

- ・年鑑販売促進としての紹介宣伝
- ・書評、評論、協会事業としての紹介宣伝
- ・公的目的を持つ放送、展示会、刊行物その他による紹介や発表

②応募作品のクレジット表記ならびに内容に関する責任は、応募者にあるものとする。

本件は、関係者間で事前に確認・了解を得たうえで応募してください。

③年鑑販売によって生じる印税については、当協会の事業収入とし、年鑑掲載者への配分は行いません。

※地震等の災害が発生した場合、協会コンペティション委員会判断により

「日本パッケージデザイン大賞 2023」を中止とする場合があります



8. お問い合わせ先

- 審査手数料、入賞・入選作品の広報に関する質問は、本コンペティション主催の日本パッケージデザイン協会（JPDA）事務局までお問い合わせください。

公益社団法人日本パッケージデザイン協会

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-4-3 ヒルズ 884 ビル 6F

Phone: 03-3815-2723

info@mail.jpda.or.jp

<https://www.jpda.or.jp/>

(10:00～18:00 土・日・祝日を除く)

- 応募全般に関する不明点、質問事項は以下の専用メールアドレスまでお問い合わせください。折り返しご返答いたします。
その際、以下の項目が必須となります。

応募社名、担当者名、連絡先電話番号、すでに応募登録済の場合はIDナンバー

担当：株式会社六耀社（「年鑑日本のパッケージデザイン」編集・刊行）

Phone: 03-6426-0131

awardadmin@mx.packagedesign.jp

(10:00～17:00 土・日・祝日を除く)



9. 年鑑掲載とその概要

■年鑑掲載

入賞・入選作品は『年鑑日本のパッケージデザイン 2023』に掲載されます。

なお、誌面構成の都合上、作品のデザインをわかりやすくする意図で、出品された全作品を掲載できない場合がありますことをあらかじめご了承ください。また、掲載作品の撮影にあたり、出品された作品に審査の過程で傷みが生じてしまった場合、作品の差し替えやレイアウトの都合上、追加出品等のご依頼をする場合もありますので、その際にはご協力くださいますようお願いいたします。

■年鑑掲載手数料

作品の年鑑掲載にあたり、掲載手数料（撮影代含む）として入賞・入選作品 1 点につき 8,800 円（税込）を別途ご請求いたします。ご請求書は二次審査結果通知時に発行いたします。

■年鑑概要

○企画・監修：公益社団法人日本パッケージデザイン協会

○発行・発売：株式会社六耀社

○体裁：B5 判変型（天地 240 mm × 左右 180 mm）600 ページ（作品ページフルカラー）並製

※体裁は予定です

○定価：27,500 円（税込）

○発行：2023 年 5 月

○発行部数：2,000 部（国内・海外 / 予定）



10. 入賞作品巡回展 11. 入賞作品寄贈のお願い

10. 入賞作品巡回展

年鑑刊行後（2023 年春以降）、入賞作品の巡回展を開催予定です。具体的なスケジュールにつきましては後日改めてご案内致しますが、2 箇所で同時期に開催される際、入賞作品を追加でご提供いただく場合もございますのでご了解ください。

11. 入賞作品寄贈のお願い

JPDA アーカイブ委員会では大賞・金賞受賞作品の収集保管展示等の活動をしております。つきましては、大賞・金賞を受賞されました際には作品寄贈のお願いをしております。あらかじめご承知置きの上、ご協力いただけますようお願い申し上げます。